



特集

P 2

日本文化体験・交流会

事業報告

P 3~5

ワールド・エクササイズ事業 ほか

外国人エッセイ 私の何でも自慢

P 6

イイウィウさん

Worldなんしよん Now?~岡山人からの便り~

P 7

串田 百花さん

ボランティア活動しています!

P 8

綾部 智春さん

作ってみよう!世界のレシピ

P 8

チチャ・モラーダ(ペルー)

JICA寄稿

P 9

令和7年度語学講座

P 10

おかやま 国際交流



令和6年度「日本文化体験・交流会」

共 催:一般社団法人 大学女性協会 岡山支部

茶道講師:安芸 真智子氏(日本文化紹介ボランティア)

令和6年
12月1日(日)開催

県内の日本人および外国人を対象に「日本文化体験・交流会」を開催しました。参加者の多くは、「和菓子づくり」や「茶道」、「日本の遊び」を初めて体験し、また、参加者同士の交流も深まり、充実した時間を過ごしました。11か国から25名が参加し、日本の伝統文化に触れる貴重な機会となりました。(詳細は次のページをご覧ください。)

参加者は、「和菓子づくり」と「茶道・日本の遊び」に分かれ、様々な日本文化を楽しみました。

「和菓子づくり」

参加者10名はおはぎ作りを体験しました。おはぎは、春には「ぼたもち」、秋には「おはぎ」と季節で呼び名が異なることを学びました。作業は、もち米をつぶして丸め、あんこで包んだり、きなこをまぶしたりする簡単なものでしたが、グループごとにもち米のつぶし方や大きさが異なり、それぞれ個性豊かな「おはぎ」が出来上がりました。自分たちで作った喜びとおいしさに笑顔が絶えませんでした。

おはぎ試食中▷



「茶道」

参加者15名は、茶室に足を踏み入れた瞬間から、講師の安芸氏が作り上げた本格的な茶道の空間に包まれ、よい緊張感の中、抹茶とお菓子を味わいました。また、茶道の歴史について学び、実際にお点前を体験したり、特別な抹茶茶碗を当てるゲームなどを通じて、茶道の深い魅力と楽しさを感じることができました。

◁ 茶道体験

「日本の遊び」

日本の伝統的な遊びであるお手玉や折り紙、けん玉、羽子板などに挑戦しました。これらのおもちゃは一見シンプルに見えますが、実際には奥深い魅力があり、日本人が外国人に教えることで、自然と一体感が生まれ、互いの距離を縮めるきっかけとなりました。参加者はその楽しさに引き込まれ時間が経つのを忘れるほどでした。

将棋体験▷



「参加者の感想」

- 初めておはぎを作りました。皆で一緒に作りながら、国際交流を楽しむことができました。
- 茶道について何も知らなかったので、少し緊張していましたが、次第にその雰囲気になれることができました。
- 紙風船について尋ねられ、久しぶりに紙風船の歌を歌いながら遊び方を教えたり、鶴の折り方を教えたりすることができたのがよかったです。
- ふだんはなかなか会えない国の方々と話すことができ、とてもよい経験になりました。



令和6年度ワールド・エクササイズ事業 「ニュースポーツを楽しもう ～秋の国際交流運動会～」

令和6年11月2日(土)

場 所:岡山県総合グラウンド ジップアリーナ岡山(サブアリーナ)

共 催:岡山県総合グラウンドコンソーシアム・チーム岡山
(一般社団法人岡山県総合協力事業団)

岡山県日中懇話会

協 力:一般社団法人岡山県レクリエーション協会

岡山県スポーツウエルネス吹矢協会

岡山県フライングディスク協会

司 会:川崎医療福祉大学講師 長木 愛氏

昨年に引き続き、ジップアリーナ岡山で開催したワールド・エクササイズには、協力団体や外国人サポートメンバーもあわせると総勢70名が集まり、ニュースポーツを通じて国際交流をしました。当日は台風の影響を受け大雨が降る中での実施となりましたが、多くの参加者が集まり体育館の中は外の天気を忘れるような活気にあふれました。

4～5名ずつのチームに分かれ、チーム内で互いに自己紹介とチーム名を決めたのち、「スポーツウエルネス吹矢」「ディスクゲッター」「バグゴ」いう3種目のニュースポーツを体験しました。スポーツウエルネス吹矢は、礼に始まり礼に終わる基本動作と呼吸法を大切にした吹矢で、海外にも支部が増えるなど人気が高まっているそうです。ディスクゲッターは、ストラックアウトのフライングディスク版で、的となる9枚のパネルをフライングディスクで狙います。バグゴは別名コーンホールと呼ばれる、米国を中心に人気のスポーツです。傾斜のついたボードの中央に穴が開いており、その穴に向かってお手玉に似たビーンバッグを投げ合い得点を競います。それぞれオリジナルのルールを織り交ぜ、チーム対抗で得点を競いました。

冒頭で「ニュースポーツをやったことがありますか」と司会の長木氏から問われ、手が挙がったのは2人ほどでした。思わぬ連続ヒットにチームメイトからの歓声と相手チームからの絶叫が同時に聞こえてきたり、「吹矢は思ったより軽く吹くだけでよかった」と興奮気味に感想を語る人もいました。上手い下手を気にする必要もなく、みな果敢に挑戦しました。「チームメイトと話が盛り上がった」「スポーツを通じて、参加者の皆さんと早く打ちとけることができた」という参加者からの感想に、非言語コミュニケーションならではの国際交流の醍醐味が感じられる一日となりました。



バグゴ



ディスクゲッター



スポーツウエルネス吹矢

令和6年度「地域共生サポーター養成講座・研修会」

令和6年12月14日(土)

講師:公益財団法人箕面市国際交流協会 事務局次長 岩城 あすか氏

事例発表:地域共生サポーター／Asian Hope Lab. 井本 亜希氏

県内で生活する外国人住民のコミュニケーションや社会活動など、生活面の支援をボランティアとして行う「地域共生サポーター*」の登録者及び登録希望者を対象とした養成講座・研修会を開催しました。

「コミュニティカフェを通した外国人市民のエンパワーメント」と題した講演では、岩城氏が大阪府箕面市で地域の外国人がシェフとして家庭料理を提供する「comm cafe」を立ち上げ、運営するなかでの工夫や成果、そして外国人市民と共生するうえで欠かせないスキルや大切にしたいことなどをお話いただきました。

また、地域共生サポーターの先輩であり奈義町で異文化交流に取り組む井本氏の発表やグループワークを通して、幅広い年齢層の意欲あふれる5か国26名の参加者は活発に意見を交わし、地域共生サポーターとしてどのような活動ができるのかを考えました。

*地域共生サポーターは岡山県の登録制度で、現在300名以上が登録しています。



事例発表を行う井本氏



笑顔で進行する岩城氏



グループワークの様子



グループで話し合った内容を発表する参加者

留学生等による国際理解学習支援プログラム

令和7年1月21日(火)

訪問校:高梁市立巨瀬小学校 1・2年生、3～5年生(合計19名、2クラス)

講師:呂 航 さん(社会人 台湾出身)

SHIN MON THANT さん(長船日本語学校 ミャンマー出身)



講師を囲んでキャラクター談義



自己紹介

今年で4回目となる高梁市立巨瀬小学校は、全校生徒19名。アットホームな雰囲気の中で国際交流をしました。

1・2年生のクラスを担当した呂さんは、低学年には細かい説明より写真や映像がいいだろうと、自作の食文化のカードを使って台湾を紹介しました。

初めて見るおいしいそうな食べ物に、子どもたちは興味津々な様子でした。後半は『だるまさんが転んだ』で交流し、その後は講師を丸く囲み、iPadを使いながら大好きなアニメのキャラクターなどについて話をしました。

3～5年生はシンさんが担当し、英語と日本語を使って授業をしました。黄金色でキラキラしたミャンマーの映像に、子どもたちからは思わず「わあ…」と声が上がりました。後半の『人間足し算ゲーム』では、JOKERを追加設定して楽しみました。先生方からは「このゲーム良いね、頭の体操にもなるね」との声が聞かれました。



ハンカチ落とし



「JOKERになりたい人～」

おかやまの地域日本語教育事業 「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」

総括コーディネーターに小川京子氏、小田真由美氏が、地域日本語教育コーディネーターに秋田節子氏、劉典子氏が就任するとともに、総合調整会議が発足、地域日本語教育の推進体制が整いました。そして、日本語教室空白地域の解消に向けた取組として、赤磐市で、令和6年9月に「やさしい日本語研修会&交流会」「にほんご勉強会&交流会」を、日本語学習支援人材（日本語学習サポーター）の育成として11月から「日本語学習サポーター初期研修」を6回（フォローアップ研修会を含む）、日本語教室の試行として12月から「あかいわにほんご教室」を7回行いました。

教室では、学習者は自身のレベルや希望に合わせてデザインされた内容をサポーターと一緒に学ぶことができます。学習者からは「近くに日本語教室ができるのを待っていた」「会社の人だけではなく地域の人とも話したい」など、日本語学習サポーターからは「初期研修で学んだことが実践を通してより理解できた」「まだうまく支援できないことが多いので頑張りたい」などの感想が寄せられました。

令和7年度は事業の2年目として、さらに広く深く展開する予定です。



総括コーディネーター
小川氏（左）、小田氏（右）



地域日本語教育コーディネーター
秋田氏（左）、劉氏（右）



眠くなる暇がない初期研修



笑顔があふれる教室

国際理解学習プラン講師派遣事業

国際分野で活動する県内のNGO6団体を、応募のあった7校へ派遣し、8件の国際理解学習プランを実施しました。（実施期間：令和6年9月～令和7年2月）



派遣団体（五十音順）	実施校（実施順）	プラン名
アジア農村 協力ネットワーク岡山	玉野市立山田小学校 岡山市立七区小学校	世界のお米料理食べてみよう 何が同じで何が違う？
岡山青年国際交流会	岡山県立倉敷古城池高等学校	Appreciating differences —ちがいを理解し、受け入れるために—
NPO法人 岡山日本語センター	岡山県立倉敷鷺羽高等学校	お互いの言葉や文化を尊重して、 多文化共生社会を考えよう
岡山ユニセフ協会	玉野市立山田小学校 岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校	考えてみよう 世界と自分のこと
青年海外協力隊 岡山県OV会	岡山県立西大寺高等学校	来て見て知って！国際支援ボランティア
ダフェプロジェクト	倉敷市立老松小学校	岡山で多文化共生を考えてみよう
6団体	延べ8校	

外国人エッセイ

私の何でも 自慢

— 自己紹介をお願いします —

私はイイウィウです。ミャンマーから来ました。
ミャンマーはビルマ族をはじめとして主たる8つの民族で構成されており少数民族も含むとその数は130を超え
ると言われています。また、豊かな天然資源があることから「黄金の国」とも呼ばれています。



早朝の托鉢をする僧侶

ミャンマーの文化は地域や民族ごとに特徴があり、その多様性が外国人観光客に人気です。例えば首都ヤンゴンにあるシュエダゴンパゴダ（黄金の仏塔）のほか、国内中に数多くの仏教建築があり圧倒的な迫力です。また、シャン州インレー湖周辺、湖上に高床式の家を建て、片足でボートを立ち漕ぎするインダー族も興味深いです。そのほかミャンマーで最も人気のある料理「モヒンガー」や、ミャンマー人が日常的に使う化粧品「タナカ」※



ダジャンの様子



モヒンガー



モロニエボー

イイ ウィウ
EIEI WINさん
(ミャンマー連邦共和国出身)
●日本滞在歴: 約2年



現在、倉敷市の介護事業所で働くウィウさん。ミャンマーで大学の法学部を卒業したのち、特定技能実習生として来日。お年寄りのお世話で日々忙しい毎日を送っています。

も有名です。

ミャンマーは仏教国なので、貧しい人々を助ける純粋な精神が心に根付いています。朝早くから僧侶たちが托鉢に出かけ、人々は僧侶に対し喜捨をする姿を見かけますが、とても気持ちが良いものです。

ミャンマーの正月は4月13日から17日までで、「ダジャン」と呼ばれる水かけ祭りをします。これには、一年の悪いものを洗い流すという意味があり、この期間に「モロニエボー」というもち団子を食べます。

— 日本の生活はどうか？ —

日本とミャンマーの宗教的背景はよく似ていて、仏教です。仏教の教えでは、小さいころから目上の人やお年寄り、子どもを大事にすることを教わるので、介護の仕事につくのは自然でした。

私は2023年3月に来日しましたが、直前までミャンマーは暑い時期、一方日本は寒い時期だったので、今まで経験したことの無い寒さに驚きました。

多少の不安もありましたが、日本人スタッフが親切にいろいろ教えてくれたので仕事にすぐに慣れ、楽しく働いています。現在では食べ物にも慣れ、私は日本食の中で醤油ラーメンと焼肉、お寿司が大好きです。ミャンマー人は本来、生肉を食べませんが、日本で初めて食べてみたらとてもおいしかったです。

日本の印象は、安全・安心・自由で、ミャンマーより豊かな国であり、自分が頑張れば頑張るほど成功が後から付いて来る社会だと思います。これが日本へ来た理由です。

将来は介護福祉士の資格を取って日本で暮らしたいと思っています。今は夢に向かって仕事と日本語の勉強を一生懸命頑張っています。

※天然の化粧品。日焼け止めの役割も兼ねる。



職場の仲間と

World なんしょん Now?

おかやまじん たよ
～岡山人からの便り～

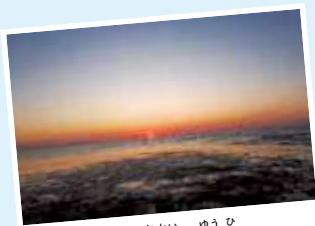
大学時代に参加した「歌の祭典(*)」をきっかけに「歌う民」と自らを呼ぶラトビアの人々や歴史に興味を深め、ラトビアの大学院に進学。現在は、仕事をしながら合唱や舞踊、文化と向き合い続けている串田さんにラトビアの暮らしについてお伺いしました。



くしだ もちかし
串田 百花氏

私が、ラトビアの首都リーガから西へ200Km離れたバルト海沿岸の町ヴェンツピルスに住んで3年目になります。

ラトビアの気候は、日本の東北や北海道と似ています。岡山に比べると少し寒く、一気に晴天から雷雨に変わることもあるので岡山の穏やかな天候が懐かしくなることもあります。変わりやすい天候でもラトビアの人々は散歩やキノコ狩り、ベリー摘みに出かけて自然を楽しむことが好きな人が多いです。私自身は、バルト海を見に行くのが大好きで趣味の一つ



バルト海の夕日

なのですが、この海への愛着は生まれ育った瀬戸内海の雰囲気を少しでも味わいたいからかもしれません。

そんな私とラトビアとの出会いは、昔から歌が好きだったことから始まります。高校や大学進学後も合唱部や合唱団の一員として活動した後、卒業論文のフィールドワークを兼ねて出演した「歌の祭典」が、ラトビアの歴史や人々の暮らしを体感しラトビアへの興味をさらに深めるきっかけとなりました。

その後、次の祭典には歌だけでなく踊りをメインに参加したいと思い、経験のなかった踊りの練習を行うためにラトビアの大学院進学を目指しました。最終的には、小さい町に住んでみたくて現在住んでいるヴェンツピルスの大学院を選択しました。

卒業直後には、日本人として初めて「歌の祭典」「踊りの祭典」両方に念願の出演を果たしました。

現在は、ゲーミング用左手デバイスメーカーにて主に翻訳・マーケティングの仕事をつとめ、平日の夜は合唱団や舞踊団、フォークロアアンサンブルの練習など、ほぼ毎日歌と踊りの練習に勤めています。

このようなラトビア民族音楽に触れる生活の中、ラトビアと出会うきっかけとなった岡山の合唱部で培った、歌へ



出演者から見た「歌の祭典」本番と「踊りの祭典」のリハーサル

の熱い思いや経験が、ここまで繋がっているんだな、と感慨に浸ることもあります。

今後もラトビアを一つの拠点とし、岡山から始まりラトビアでより深く生活に根付いた音楽と共に、自然のそばで素朴にしながら賢く、穏やかな生活を営んでいきたいと思っています。



民族舞踊団の仲間と共に

*バルト3国、各国で同様の催しがあり、「バルト地方の歌と踊りの祭典」としてユネスコ世界無形文化遺産に登録されている。ラトビアでは、「歌と踊りの祭典」は5年ごとに開催され、1週間以上わたって行われる。1万人を超える歌手たちが一堂に会し、森の中の野外ステージで4万人以上の観客を前に民族音楽を歌い踊るプログラムもある。



岡山県国際交流協会でのボランティアのきっかけ

6年半ほど前に、長年住んでいた千葉県から岡山県へ引っ越ししてきました。岡山県は私にとっては全く新しい土地で、知っている人は誰もいない状態でした。そのため、早く地域社会に溶け込んで友人を作りたいと思っていました。千葉では、外資系企業で主に日本語と英語を使った接客の仕事をしていたため、岡山でも英語のスキルを活用できる場を探していたところ、協会のボランティア募集にたどり着きました。



綾部 智春さん



イベントのひとコマ

活動について

協会のイベントでは、参加者と楽しい時間を過ごすとともに、今まで触れる機会がなかった外国語を学ぶことができ、私自身もとてもよい経験を得られています。また、国際交流を通じて、ほかの国を知るだけでなく、私たちの国、日本を紹介するために、伝統や文化について改めて学んだり考えさせられたりすることも多くあります。

この活動を通じて、「自分の中の世界が広がる」わくわく感を、参加者に感じてもらえればよいと思っています。



作ってみよう！世界のレシピ

ペルーのアンデス地方で生まれた飲み物

『CHICHA MORADA』.

この飲み物のベースとなる主原料は、コリです。コリとはアンデス山脈沿いで豊富に栽培され、収穫されるペルー産のトウモロコシの品種です。材料は、あくまで目安。家庭ごとに分量が変わる飲み物です。



ワマン パロミノ カティア サラさん
(ペルー出身:右)と助手杜曉熙さん(中国出身:左)

材料 (出来上がり:飲み物1.4リットル 5~6人分)

乾燥紫トウモロコシ 200g

スパイス(A)

シナモン(ホール) 1本

クローブ(ホール) 3粒

果実(B)

パイナップル(完熟) 1/4個

りんご 1/2個

その他

水

..... 3リットル

きび砂糖

..... 70g

お好みで

レモン(絞り汁)

..... 大さじ2



ペルーの紫トウモロコシ

作り方

洗 う: 紫トウモロコシをよく洗い、不純物を取り除く。

沸 かす: 大きな鍋に水3リットルを入れ沸騰させる。紫トウモロコシ、シナモン、クローブ、適当な大きさにカットしたパイナップルを皮ごと、りんごを入れ再度沸騰させる。

煮 る: 沸騰したら火を弱め、30分ほど煮る(およそ半分の量になる)。材料の風味付けになり、濃い紫色になってゆく。

こ す: 材料をとりだし、エキスを絞り切るためギューギューとしぼる。

甘 味を加える: 好みで甘さを加える。さらに、小さいキューブ型に切ったりんごを加えレモンのスライスを加える。さっぱりさせたい場合はレモン汁を加えてもよい。

サ ーブする: 冷やして氷を入れたグラスにチチャ・モラダを注ぐ。夏はさっぱり冷たくして、冬はホットでもおいしい。



鍋でコトコト煮て、
素材のエキスを抽出中



家庭料理の定番
パパ・ア・ワンカイナとともに



JICA 寄稿

今回は、中国地方の高校生～高専・大学生・大学院生が参加できるJICA中国のプログラムをご紹介します！

地域と世界をつなぐ視点を身につけ、行動を起こすきっかけを得られる貴重な体験が待っています。高校生や大学生の皆さん、次のプログラムにぜひ参加してみませんか？

地域と世界をつなぐ大学生等フィールドワーク合宿

2024年9月9日から10日間、岡山県英田郡西栗倉村で大学生フィールドワーク合宿を開催しました。岡山県を含む中国5県から9名の大学生が参加し、地域の課題や魅力を発見し、解決策を考える実践的な合宿となりました。

この合宿では、西栗倉村で子どもたちの教育活動を進める一般社団法人Nestと共に活動を行いました。合宿初日にはNPO法人のAMDA-MINDSより講師を迎え、国際協力の視点や手法を学びながら、地域課題への理解を深めました。また、中国地方在住のJICA留学生とも交流し、グローバルな視点で地域課題を考える機会を得ました。参加者は、行政やローカルベンチャーの実践者へのインタビューや地域の住民との交流等を通じて地域の魅力を発見し、期間中に2回の発表を行いました。

最終日には、合宿中に学んだことを踏まえて、西栗倉村立西栗倉小学校の3～6年生を対象に「地元と世界をつなげる」授業を実施。地域の未来や世界とのつながりを考えるきっかけを提供し、地元の子どもたちと参加者双方にとって貴重な学びの場となりました。大学生フィールドワーク合宿は岡山県以外に広島県尾道市因島でも実施し、岡山県内からも4名が参加しました。

これらフィールドワーク合宿は自分たちの暮らす近隣地域をフィールドにし、参加学生が寝食をともにしながら、それぞれの地域課題にじっくりと向き合いながら同時に国際協力を実践的に考え学ぶことのできる、短期集中型の貴重な体験プログラムとなっています。

高校生向け国際協力体験プログラム

高校生を対象とした「JICA高校生国際協力体験プログラム」も毎年夏に実施しています。このプログラムでは、中国5県から集まった30名程の高校生が、開発

途上国の現状や日本との関係、世界共通の課題について学び、講義やワークショップを通じてアクションプランを作成し発表します。

JICA海外協力隊2025年春募集スケジュールのお知らせ

募集期間	2025年3月21日(金)～2025年5月9日(金)正午締切
要請情報の公開	2024年3月14日(金)
二次選考	2025年7月1日(火)～2025年7月12日(土)
最終可否通知	2025年8月28日(木)(予定)



JICA事業、国際協力に関するご相談は岡山県JICAデスク(橋本)まで。

E-mail : jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp / 電話 : 080-2934-8497

Facebook : <https://www.facebook.com/jica.okayama>



日本語講座

毎週火曜日から土曜日まで日本語講座を実施しています。

- と き 火曜日:10:00~11:40/18:30~20:10
水曜日:10:00~11:40/18:30~20:10
木曜日:10:00~11:40
金曜日:10:00~11:40
土曜日:15:10~16:50
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 受講料 無料(ただし、ジャパニーズクラス(会費2,000円)に入会が必要です)
- 定員 入門~中級 各講座25名
- その他 1人2講座まで(希望に沿えないこともあります。)
- 申込み 企画情報課

インドネシア語講座

インドネシア語は日本人にとって発音しやすく、覚えやすい言語です。インドネシア人の先生と楽しく学びませんか。見学は無料ですのでお気軽にご参加ください。

- と き 初級:土曜日 13:00~14:45
中級:日曜日 13:00~14:45
- ところ 岡山国際交流センター 初級 6階 会議室
中級 4階 図書資料室
- 講師 インドネシア出身留学生
- 受講料 15,000円(1年間 全42回、テキスト代別 協会会員費2,000円別途要)
- 定員 初級12名、中級16名 ●共催 岡山インドネシア友好協会
- 申込み 岡山インドネシア友好協会 岡田氏 TEL:0863-31-4510

韓国語講座

レベル別に4クラスあります。韓国出身の講師が丁寧に教えます。韓国文化、語学に興味がある方、一緒に楽しく学びましょう。

- と き 入門:第2・4金曜日 初級:第2・4水曜日
中級:第1・3水曜日 会話:第1・3金曜日
18:30~19:40(日程は変更することがあります)
- ところ 岡山国際交流センター4階 図書資料室
- 講師 金良禧氏、金允姫氏
- 受講料 協会会員 8,000円 一般 10,000円(全20回、テキスト代別)
- 定員 各クラス 20名(要申込み)
- 申込み 企画情報課

中国語講座

前期4月、後期10月開始の講座です。中国出身の講師がレベル別に教えます。各クラス無料で1回見学ができます。

- と き 土曜日:上級A 10:00~11:30 入門 17:40~19:10
初級 19:20~20:50
日曜日:中級 17:00~18:30 上級B 10:00~11:30
※上級A、Bは同じレベルです。
- ところ 岡山国際交流センター6階 会議室
- 講師 中国出身留学生
- 受講料 協会会員 18,000円 一般 21,000円 高校生以下 16,000円
(半期6か月 21回、テキスト代別 2クラス以上受講時5,000円割引)
- 定員 各クラス 20名
- 共催 岡山県華僑華人総会
- 申込み 岡山県華僑華人総会事務局
TEL:086-201-1076(月~金 10:00~17:00)

かいほう し あんけーと ねが こんご さんこう
会報誌アンケートのお願い 今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

「ベル・エポック—美しき時代— パリに集った芸術家たち ワイズマン&マイケルコレクションを中心に」(県立美術館開催)ペアチケットを5様にプレゼント!



令和7年4月12日(土)までにアンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で開催される標記展覧会「(会期:令和7年4月11日(金)~5月18日(日))」のペアチケットをお送りします。発表は発送をもって代えさせていただきます。



▲アンケートフォーム

「ベル・エポック—美しき時代— パリに集った芸術家たち ワイズマン&マイケルコレクションを中心に」

19世紀末から20世紀初頭のパリでは、世界中から多くの芸術家たちが集い、美術工芸のみならず、舞台、音楽、文学、モード、科学技術などさまざまなジャンルで多様な文化活動が繰り広げられ、「ベル・エポック(美しき時代)」と呼ばれています。本展は、そうしたベル・エポック期から1930年代に至る時代の文化のあり様を、日本初公開となるワイズマン&マイケルコレクションからの珠玉の作品群を中心に、国内外の優品を加えた約280点の作品により紹介するものです。

ジュール・シュレ《ダンス》1891年 デヴィッド・E、ワイズマン&ジャクリーヌ・E、マイケル所蔵

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員:2,000円 団体会員:10,000円
賛助会員:30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail:kokusai@opief.or.jp

最新情報は、当協会のホームページやFacebook、X(旧Twitter)等で随時お知らせします。



ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



一般財団法人 岡山県国際交流協会 企画情報課

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905(9:00~17:30)

[休館日]12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)
☎086-256-2226

ホームページ:https://www.opief.or.jp

Facebook:https://www.facebook.com/coolopief/

X(旧Twitter):https://twitter.com/opief_okayama

Instagram:https://www.instagram.com/opief_okayama/

E-mail:kokusai@opief.or.jp